



OSAKA
JAPAN

..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....
SUITA ESAKA ROTARY CLUB
CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
会長: 庄瀬 寛 幹事: 橋本 豊 会報委員長: 北山 陽一

2011年9月27日 第1014回例会(第1013号)

🌀 本日の例会 🌀

📌 今週の歌 「それこそロータリー」

📌 卓話 「2011~2012年度

地区社会奉仕委員会の活動について」

地区社会奉仕委員会

委員 横田 聡 様

(山崎会員紹介)

🌀 次回例会のお知らせ(10月4日) 🌀

国際ロータリー第2660地区

矢橋弘嗣ガバナー補佐訪問

「クラブ協議会」

本日の会長の時間

「東京の再開発」 庄瀬 会長
北区の中ノ島再開発地区の前を通りました。予算
がまとまらず、再開発でせつかく買収した土地を売
却して美術館を建てるそうで、計画性のない話です。

それに比べて東京の再開発は興味深いものです。
大手町のビルが解体されて森になるのです。旧富士
銀行の本店跡地の一帯3,300坪のうち再開発により
1,100坪が「大手町の森」になります。森の生育状
況や管理方法において、千葉県の実験が行われたの
です。山林の中に大手町の建物
地下部分と同じようなコンクリートを打設して、土
厚や排水や勾配等も本計画と同じように築造して、
3年間の生育状況や管理方法を調べて、樹木はその
まま大手町に移す計画です。森は人口地盤の上で生
育して、森の下は商業施設となります。たっぷりと
自然の土を盛った本物の森となり、土の厚さは最大

1.6m、3tの重さの土壌です。造園の管理コスト
は剪定や除草の手間が安くなるらしく、興味深い話
です。

前回〔9月20日〕例会記録

来客

池田 知隆 様(卓話者・ジャーナリスト)
森田 晴夫 君(京都東)
大西 宰士郎 君(大阪北)

幹事報告

橋本 幹事

10月4日ガバナー補佐訪問、18日ガバナー公式訪
問、全員出席よろしくお祈りします。

出席報告

飛田 委員

【9月20日】

在籍会員 40名(内出席規定適用免除者 9名)
出席会員 32名(内出席規定適用免除者 6名)
ホームクラブ出席率 86.49%

8月30日のMUを含む出席率 100%

関西大学RAC例会出席担当

10月3日(月)・24日(月)

Dグループ 成松、新井、北村(康)、速見
内田、北村(雅)各会員

会場: 中央体育館 図書資料室

時間: 19:00~20:00

ロータリー、人類のために活動します (Rotary, Humanity in Motion)

ニコニコ箱

赤尾会員 多人数のゴルフコンペで、優勝させて頂きました。大きな運を使ってしまい、今後が心配です。

西村会員 本日の池田卓話講師を、よろしくお祈りします。

本日分 15,000円 累計 359,000円

親睦活動委員会

新井委員長

情報集會のお知らせ

10月14日(金)18:30から、内田会員のご子息のお店“トゥルヌツソル”にて情報集會を開催致します。皆様の参加をお待ちしております。

尚、来週の例会時に出欠を確認させて頂きまので、よろしくお祈り致します。

卓話

「原発があぶり出した日本社会」

ジャーナリスト 池田知隆様
(西村会員紹介)



東日本大震災、福島原発事故から半年たちました。政府は、福島原発の原子炉に対して年内に「冷温停止状態」を実現させると説明していますが、はたして確実に収束に向かっているのでしょうか。

1号機は核燃料がメルトスルーし、2、3号機の建物には立ち入ることができず、その内部の状態はまだ不明です。敷地内のコンクリートも地震などで亀裂が入り、そこから地下水が流入し、膨大な汚染水の処理も多難を極めています。

一方で、福島の事故を通して日本の政・官・財・学プラスマスメディアに対する国民の信頼が失われてきました。「パニックをおこしてはならない」と政府も情報公開をためらい、マスメディアの報道は「大本営発表」に流れる一方で、政治家の失言など瑣末なことばかりをとりあげています。また政治家のリーダーシップも発揮されず、復旧、復興は停滞しています。

いま、日本人は放射能汚染された中で生きていくという「人類的な課題」を背負わされています。同時に、原発問題を踏まえて、世界の核戦略に対抗して日本はどのような位置を保っていくのかも問われています。原発から生みだされるプルトニウムは、核燃料サイクルをやめると、日本が持っている口実がなくなります。日本は、核兵器をつくるだけの技術的潜在力をもっている政治的な「カード」を失います。いわゆる「丸腰」で世界に立ち向かう覚悟が求められます。

これまで日本は「資源小国」といわれてきました。しかし、足元をみると、「地熱」という純国産のエネルギーもあります。火山国という地の利を生かし、地熱発電について積極的に開発投資を検討していくべきではないでしょうか。

これからの日本のエネルギーをどう確保していくのか。国民総学習という意味で、原発をめぐる国民投票も考えるべきだと思います。吹田在住の作家、高村薫さんは「現実を見据えるところから希望が生まれる」とテレビで発言していました。いま、そこにある「危機」をしっかりと見つめなければなりません。

(ガバナー月信9月号より)

新クラブ設立の準備状況報告と新会員募集について
ガバナー 岡部 泰鑑

地区ガバナー主導で進めております新クラブ創立準備活動は、地区担当委員会において、新クラブ設立に伴う諸条件について綿密な調査と検討を行い、これまでに下記の通り決定しております。

1. 新クラブの名称

「大阪アーバン・ロータリークラブ」(仮称)

「The Osaka Urban Rotary Club」

2. 例会場 ホテルグランヴィア大阪

3. 例会日時 毎週水曜日 07:30~08:30

4. 会費

入会金: 8万円

年会費: 10万円(RI・地区人頭分担金。その他の義務的・全必要経費、及びホテル例会会場費を含みます。但し食費は1例会につき、各出席者が@¥1,500を負担します。)

5. 会員 創立時の会員目標数: 30名

6. 今後の準備作業の予定

9月~10月: 仮クラブ発足、クラブ細則作成・クラブ組織編成

10月: RIへの加盟申請

2012年1~2月: 認証状伝達式、チャーターナイト